

1 経営の基調

(1) 沿革の概要

(イ) 開校までの経過

本町南部地域の人口増加に対応するため、町では合志南小学校区を分割し、新設校を建設することを昭和56年に計画した。

昭和57年 3月 校名は南ヶ丘小学校と決まる。

〃 58年 2月 南ヶ丘小学校の校区割決まる。(杉並台、永江団地、武蔵野台、雇用促進住宅)

〃 59年 3月 校舎・運動場完成

(ロ) 開校後

昭和59年 4月 南ヶ丘小学校が児童数574名、15学級(複式学級1、児童数3名を含む) 職員23名(県職20、町職3)で発足。4日落成開校式 古田精介校長着任

〃 59年 8月 水泳プール竣工、水泳開始

〃 59年12月 学校緑化第2期工事

〃 60年 3月 校歌、校章が完成する。

〃 60年 4月 昭和60、61年度心身障害児理解推進校の文部省指定を受ける。

〃 60年 5月 児童数591名、16学級(複式学級1、児童数3名含む) 職員25名

〃 60年 9月 校旗完成

〃 61年 5月 児童数575名、17学級(複式学級1、児童数3名を含む) 職員28名

〃 61年 8月 多目的教室増設工事着工

〃 61年12月 文部省指定心身障害児理解推進校の研究発表

〃 61年12月 パソコン24台導入

〃 62年 2月 多目的教室増設完成

〃 62年 4月 児童数540名、18学級(複式学級1、児童数3名含む) 職員27名 富田郁夫校長着任

〃 62年 7月 普通教室3教室増設工事着工

〃 62年12月 〃 完成

〃 63年 4月 児童数507名16学級(複式学級1、児童数1を含む) 職員24名(県費21名、町費3名)

〃 63年 7月 運動場土手身障害者スロープ完成

〃 63年 8月 体育館2階への渡り廊下ネット設置

平成 元年 2月 運動場土手つつじ、さつき約600本植樹

〃 元年 3月 運動場南側と西側防球ネット設置

〃 元年 4月 児童数527名、18学級(複式学級1児童数1を含む) 職員26名(県費24名、町費2名)

〃 元年 7月 冷暖房設備設置(校長室・職員室・事務室)

〃 元年 8月 廊下センターライン引き

〃 元年10月 運動場側花壇改修

〃 2年 4月 児童数545名、19学級(複式学級1児童数2を含む) 職員28名(県費26名、町費2名)

〃 2年 7月 運動場防球ネット増設

〃 2年 8月 体育館ステージ国旗、校旗設置

〃 2年12月 飼育小屋設置

〃 3年 4月 児童数526名、18学級(複式学級1児童数2を含む) 職員26名(県費24名、町費2名) 坂本守成校長着任

〃 3年 7月 冷暖房設備設置(パソコン室、保健室)

〃 3年 8月 中庭遊具設置

〃 4年 4月 児童数575名、18学級(複式学級1、児童数3名を含む) 職員26名(県費24名、町費2名) 三島誠一校長着任

〃 5年 4月 児童数600名、20学級(複式学級2児童数4を含む) 職員28名(県費26名、町費2名)

〃 5年 5月 中庭観察池設置

〃 6年 4月 児童数630名、20学級(複式学級2児童数4を含む) 職員29名(県費27名、町費2名) 中嶋 稔校長着任

〃 6年 8月 校庭南側壁完成

〃 7年 3月 複式学級2組出入口ドア設置

〃 7年 4月 児童数621名、20学級(複式学級2児童数3を含む) 職員29名(県費27名、町費2名)

〃 7年 5月 校庭東側及び南側土手植栽(ベニカナメ、アメリカハナミズキ、ドウダンツツジ、サザンカ)

〃 7年 8月 各学年児童トイレ、洋式便所設置工事完了

〃 8年 1月 正門門扉工事、児童昇降口への通路及び東門車止め工事完了

〃 8年 4月 児童数603名、20学級(複式学級2児童数2を含む) 職員29名(県費27名、町費2名)

〃 8年11月 第2棟増築工事(3階3教室)完了、学校引渡し

〃 9年 1月 渡り廊下(第1棟、第2棟間の1階・2階部分)及び旧渡り廊下部の塗装工事完了

〃 9年 4月 児童数605名、20学級(複式学級2、児童数2名を含む) 職員28名(県費26名、町費

			2名) 紫藤英二校長着任
〃	9年	7月	北校舎教室照明増設工事
〃	9年	8月	正門外部照明工事、体育館照明ボード工事
〃	10年	4月	児童数 622 名、29 学級 (複式学級 1 児童数 2 名を含む) 職員 27 名 (県費 25 町費 2)
〃	10年	8月	運動場斜面改修、玄関及び児童昇降口スロープ、プール階段手摺・体育館洋式トイレ工事
〃	11年	2月	熊本県教育委員会の善行表彰を受ける
〃	11年	4月	児童数 602 名、19 学級 (複式学級 1、児童数 1 名を含む) 職員 27 名 (県費 25 名、町費 2 名) 田中耕治校長着任
〃	11年	11月	菊池郡市地教委連絡協議会指定人権教育研究発表会開催
〃	12年	2月	台風 18 号による被害箇所改修工事
〃	12年	4月	児童数 579 名、19 学級 (複式 1 学級、児童 3 名を含む) 職員 28 名 (県費 26 名、町費 2 名)
〃	13年	3月	エレベーター工事、プール横スロープ工事、障害者専用トイレ工事
〃	13年	4月	児童数 572 名、20 学級 (複式学級 2 児童 4 名を含む) 職員 32 名 (県費 27 名、町費 5 名)
〃	14年	4月	児童数 570 名、20 学級 (複式 2 学級、児童 4 名を含む) 職員 33 名 (県費 28 名、町費 5 名) 田中佐和子校長着任
〃	14年	8月	児童昇降口ドア改修工事
〃	15年	2月	防犯カメラ取付け 非常用通報機器設置
〃	15年	3月	運動場改修工事
〃	15年	4月	児童数 590 名、21 学級 (複式 2 学級、児童 5 名を含む) 職員 35 名 (県費 29 名、町費 6 名)
〃	15年	11月	創立 20 周年記念式典
〃	16年	1月	草積み場設置
〃	16年	4月	児童数 578 名、21 学級 (複式 2 学級、児童 3 名を含む) 職員 35 名 (県費 30 名、町費 5 名)
〃	16年	8月	校長室・職員室・パソコン室・空調設備入替
〃	16年	12月	合志町教育委員会指定 学力向上推進研究発表会開催
〃	17年	4月	児童数 596 名、21 学級 (複式 2 学級、児童 4 名を含む) 職員 32 名 (県費 29 名、町費 3 名) 末田稔校長着任
〃	18年	2月	合志町、西合志町合併により合志市となる。合志市立南ヶ丘小学校と改称。
〃	18年	4月	児童数 607 名、20 学級 (複式 2 学級、児童 3 名を含む) 職員 33 名 (県費 28 名、市費 5 名)
〃	19年	2月	合志市教育委員会指定 学力向上推進研究発表会開催
〃	19年	4月	児童数 625 名 21 学級 (特別支援学級 1 児童 1 名を含む) 職員 35 名 (県費 30、市費 5 名)
〃	19年	7月	北側校舎大規模改修工事
〃	20年	2月	県小社研菊池大会開催
〃	20年	4月	児童数 637 名、21 学級 (特別支援学級 1 児童 2 名を含む) 職員 37 名 (県費 32 名、市費 5 名) 前田弘校長着任
〃	20年	8月	東側校舎大規模改修
〃	21年	2月	合志市教育委員会指定研究発表会 (国語科)
〃	21年	4月	児童数 648 名、21 学級 (特別支援 1 児童 2 名を含む) 職員 34 名 (県費 29 名、市費 5 名)
〃	21年	11月	普通教室扇風機設置
〃	22年	2月	大型テレビ 7 台設置
〃	22年	3月	特別支援教室 2 クラスエアコン設置
〃	22年	4月	児童数 668 名、24 学級 (特別支援 4 児童 5 名を含む) 職員 38 名 (県費 32 名、市費 6 名)
〃	23年	2月	合志市教育委員会指定学力充実研究発表会開催
〃	23年	3月	合志義塾ゆかりの「カタルパ」の木、学問の木「楷」の木の記念植樹
〃	23年	4月	児童数 702 名、25 学級 (特別支援 4、児童 5 名を含む) 職員 39 名 (県費 33 名、市費 6 名) 野口誠也校長着任
〃	23年	8月	体育館補修完成
〃	24年	4月	児童数 710 名、24 学級 (特別支援 4、児童 6 名を含む) 職員 40 名 (県費 34 名、市費 6 名)
〃	25年	3月	中庭にプレハブ校舎 (2 教室) 増築
〃	25年	4月	児童数 711 名、26 学級 (特別支援 4、児童 6 名を含む) 職員 42 名 (県費 36 名、市費 6 名) 徳永誠也校長着任
〃	25年	11月	30 周年記念行事 (42. 195km リレーマラソン挑戦)
〃	26年	4月	児童数 698 名、26 学級 (特別支援 4、児童 7 名を含む) 職員 45 名 (県費 39 名、市費 6 名)
〃	26年	11月	合志市教育委員会指定研究発表会 (特別活動)
〃	27年	2月	普通教室増築 (4 教室)
〃	27年	4月	児童数 683 名、24 学級 (特別支援 4、児童 9 名を含む) 職員 44 名 (県費 35 名、市費 9 名) 池上秀昭校長着任
〃	28年	4月	児童数 693 名、24 学級 (特別支援 4、児童数 10 名を含む) 職員 45 名 (県費 36 名、市費 9 名) 二殿一身校長着任
〃	28年	4月	「平成 28 年熊本地震」臨時休校 9 日間

〃	29年	4月	児童数 684 名、24 学級（特別支援 5、児童数 10 名を含む）	職員 44 名（県費 36 名、市費 8 名）
〃	30年	4月	児童数 693 名、24 学級（特別支援 5、児童数 20 名を含む）	職員 45 名（県費 36 名、市費 9 名）
〃	31年	4月	児童数 701 名、25 学級（特別支援 5、児童数 20 名を含む）	職員 46 名（県費 36 名市費 10 名）
			北里 敦校長着任	
令和	2年	4月	児童数 670 名、25 学級（特別支援 6、児童数 28 名を含む）	職員 46 名（県費 36 名市費 10 名）
〃	3年	4月	児童数 683 名、25 学級（特別支援 6、児童数 34 名を含む）	職員 48 名（県費 36 名市費 12 名）
			有内 弘校長着任	

(2) 本校の概要

平成18年2月に旧西合志町と旧合志町が合併して合志市となった。校区は、市の南部に位置し、菊陽町、熊本市と隣接している。平成25年度までは、熊本市圏における生活拠点として団地化が進み、児童の転出入や校区内の転居も多く見られ児童数は増加傾向にあったが、現在、やや減少している。保護者は、全体的に教育への関心が高く、PTA活動も積極的に行われている。

○家庭の実態

校区は新興住宅地であるため、子どもの家庭の大部分は核家族である。共働きが増えてきており学童保育を希望する家庭が多い。

地域住民のほとんどは、熊本市内からの移住である。保護者の教育への関心は高く、地域の方々の学校教育活動への支援も活発に行われている。平成18年度に子どもの下校を見守る「見守り隊」が発足する等、PTA活動が活発になり、学校との連携が深まってきている。

(3) 校区図

